

「火山局」来館10万人

八幡平市 柏台小児童に記念品

八幡平市松尾寄木の岩手山火山防災情報ステーション「イーハトーフ火山局」は1日、来館者が10万人を突破した。見学に訪れた同市の柏台小3年生が「10万人目」として記念品を受け取った。

3年生16人が訪れると、火山局を管理運営する八幡平市と岩手河川国道事務所の職員が拍手で迎えた。武田常徳副市長は「岩手山と一緒に暮らしていくために、火山について大いに勉強して欲しい」と呼び掛け、記念品を手渡した。

火山局は岩手山の火山活動活発化を受け、2000年に開局。災害時は現地対策本部として利用し、平時は火山防災に関する情報発信の役割を担う。

岩手山の噴火の歴史や最近の火山活動、防災対策などをパネルで紹介。土石流や砂防えん堤の仕組みが分かる土石流模型実験装置や災害区域が一目で分かる被災予想シオラマなどがある。入場無料。

美濃あゆさんは「10万人もお客さんが来たなんてびっくり」と驚



来館者10万人突破を祝って記念撮影する柏台小の児童

き、久世実子さんは「土石流が起っても砂防えん堤があることで危なくないと分かった」と防災への理解を

深めていた。